

省スペース設計 L型街渠 I形

◆ エプロン幅が狭く、歩車道境界ブロックを製品頂版上に載せる構造の縦断管 ◆

従来の縦断管に比べ『ココ』が違います！

1. 今話題の自転車レーンに対応！

路肩への張出し幅は従来品 500 mmの半分以下 (185 mm)。自転車レーン幅の確保、道路構造令に適合した位置への外側線の設置、用地買収の軽減が可能。表面タイル模様が滑り止め効果を発揮すると同時に景観へも配慮。

2. 機能性に優れた樹脂スリット構造！

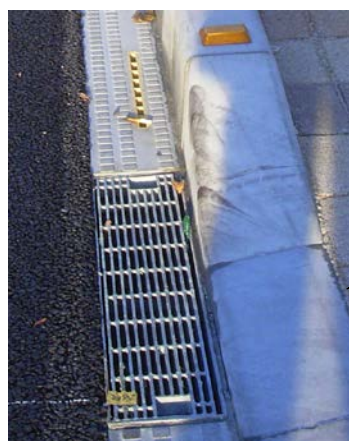
逆ろうと形状が土砂詰まりによる集水能力の低下を防止し、中間リブが自転車のタイヤ落ち込みを防止する事により安全の確保を実現。

3. 施工後の問題点を解消！

歩車道境界ブロックの基礎コンクリートが不要で、24条工事等によるブロック入れ替えも容易。不等沈下による乗入れブロックの破損も軽減。

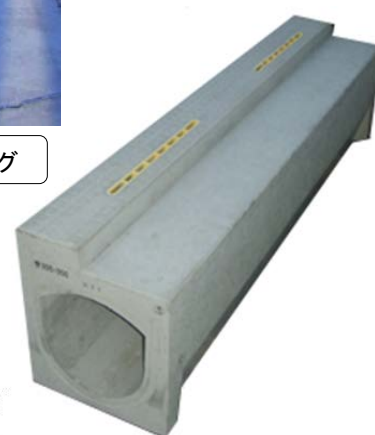
4. 逆勾配にも対応！

V S側溝タイプの規格も用意しており、自在に水路勾配を設定可能。



柵部 開閉式グレーチング

柵部でも、一般的な歩車道境界ブロックが使用できます。(専用ブロックが不要)



※ 維持管理用に開閉式グレーチング付きの規格も用意しております。

<施工年度> 平成 26 年 10 月
 <施工場所> さいたま市浦和区本太
 <発注機関> さいたま市南部建設事務所

株式会社ホクエツ関東

さいたま市岩槻区城南 1-1-3

TEL 048-791-1335

URL <http://www.kanto.hsnet.jp>